

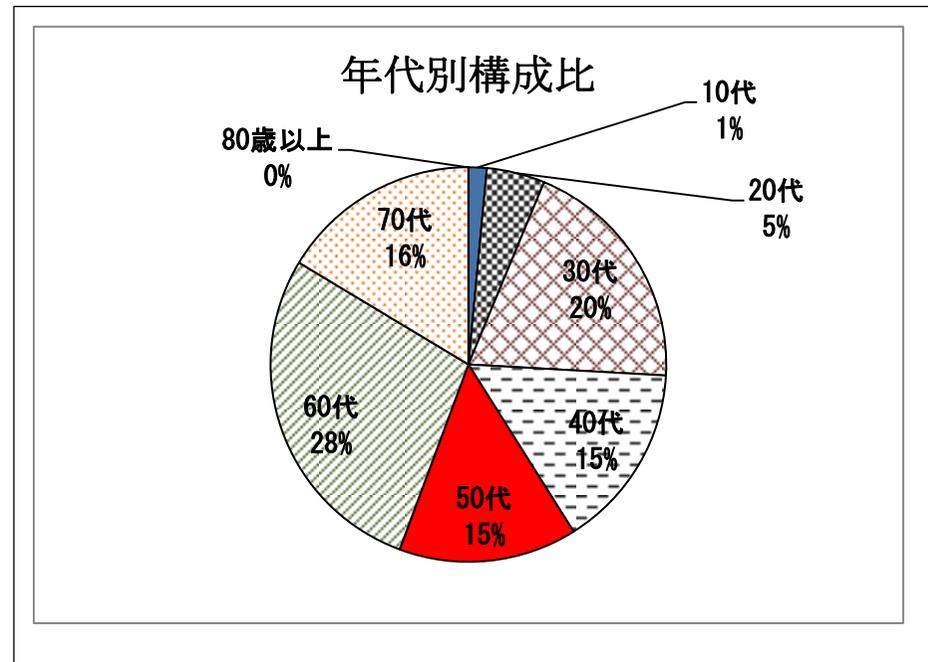
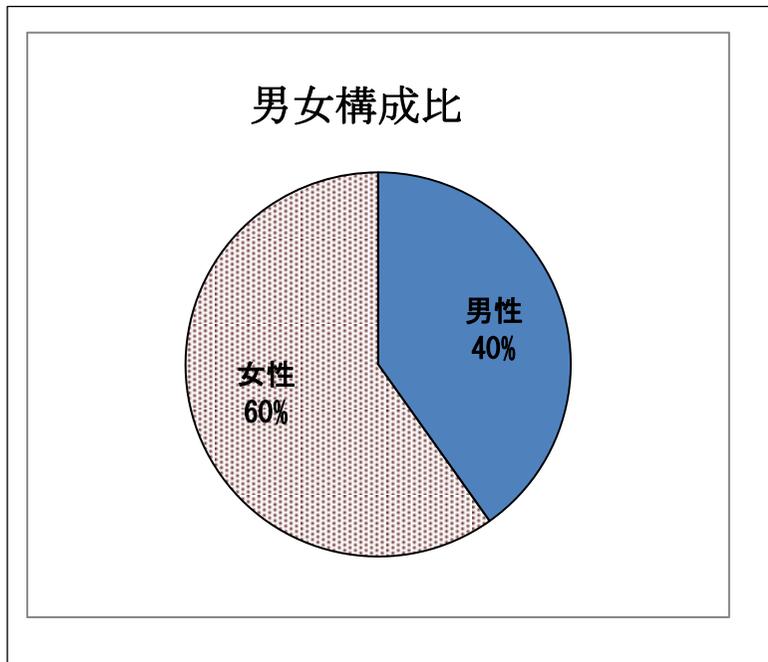
滝川市民を対象とした環境に関するアンケート調査について（平成27年2月～4月実施）

資料 4

- ・調査対象：滝川市内に在住する18歳以上の住民1,000人
- ・抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出
- ・調査方法：郵送による配布・回収
- ・調査期間：平成27年2月20日～4月30日
- ・回答率：33.6%（336人回答）

1. 男女構成比、年代別構成比（単位：人）

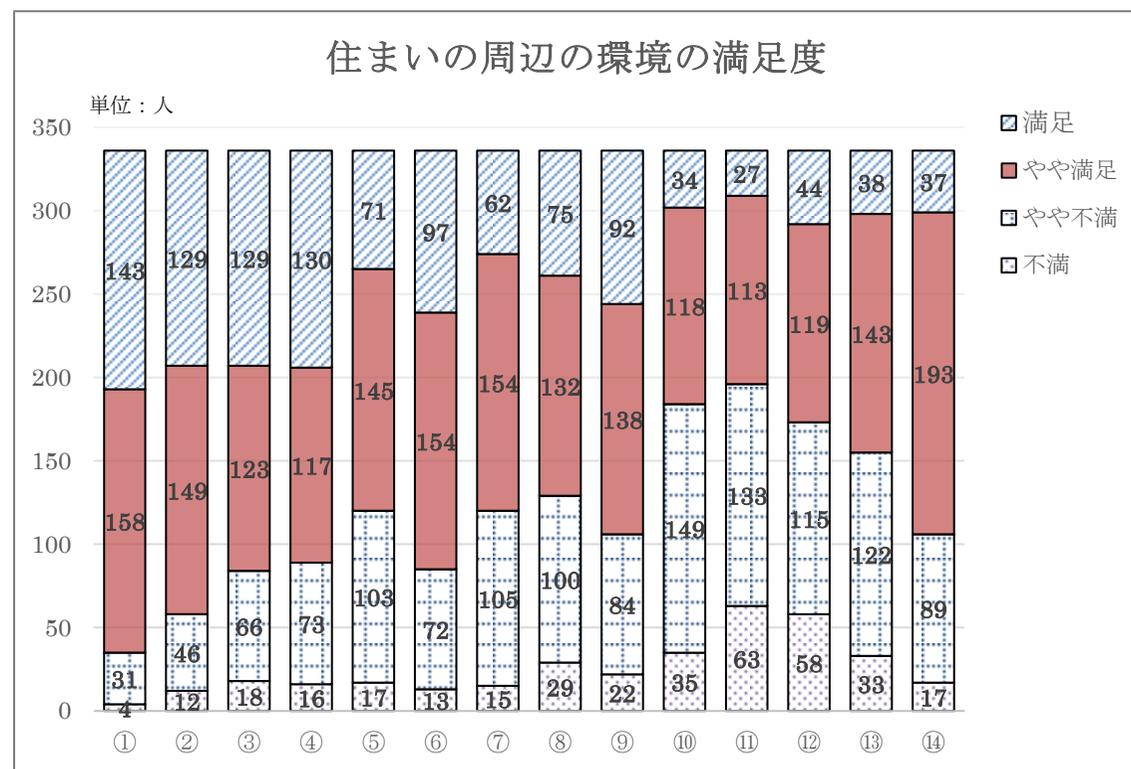
①性別		②年齢							
男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
135	201	5	16	66	51	49	94	55	0



2. 住いの周辺の環境の満足度

①～⑭の項目の満足度

番号	項目	満足	やや満足	やや不満	不満
①	空気のきれいさ	143	158	31	4
②	におい	129	149	46	12
③	静かさ	129	123	66	18
④	振動	130	117	73	16
⑤	川の水のきれいさ	71	145	103	17
⑥	みどりの豊かさ	97	154	72	13
⑦	生き物の多さ	62	154	105	15
⑧	公園や広場の多さ	75	132	100	29
⑨	川の身近さ	92	138	84	22
⑩	まち並みの美しさ	34	118	149	35
⑪	ごみのポイ捨ての少なさ	27	113	133	63
⑫	ごみの不法投棄の少なさ	44	119	115	58
⑬	地域コミュニティの熟度	38	143	122	33
⑭	環境に関わる総合的な満足度	37	193	89	17



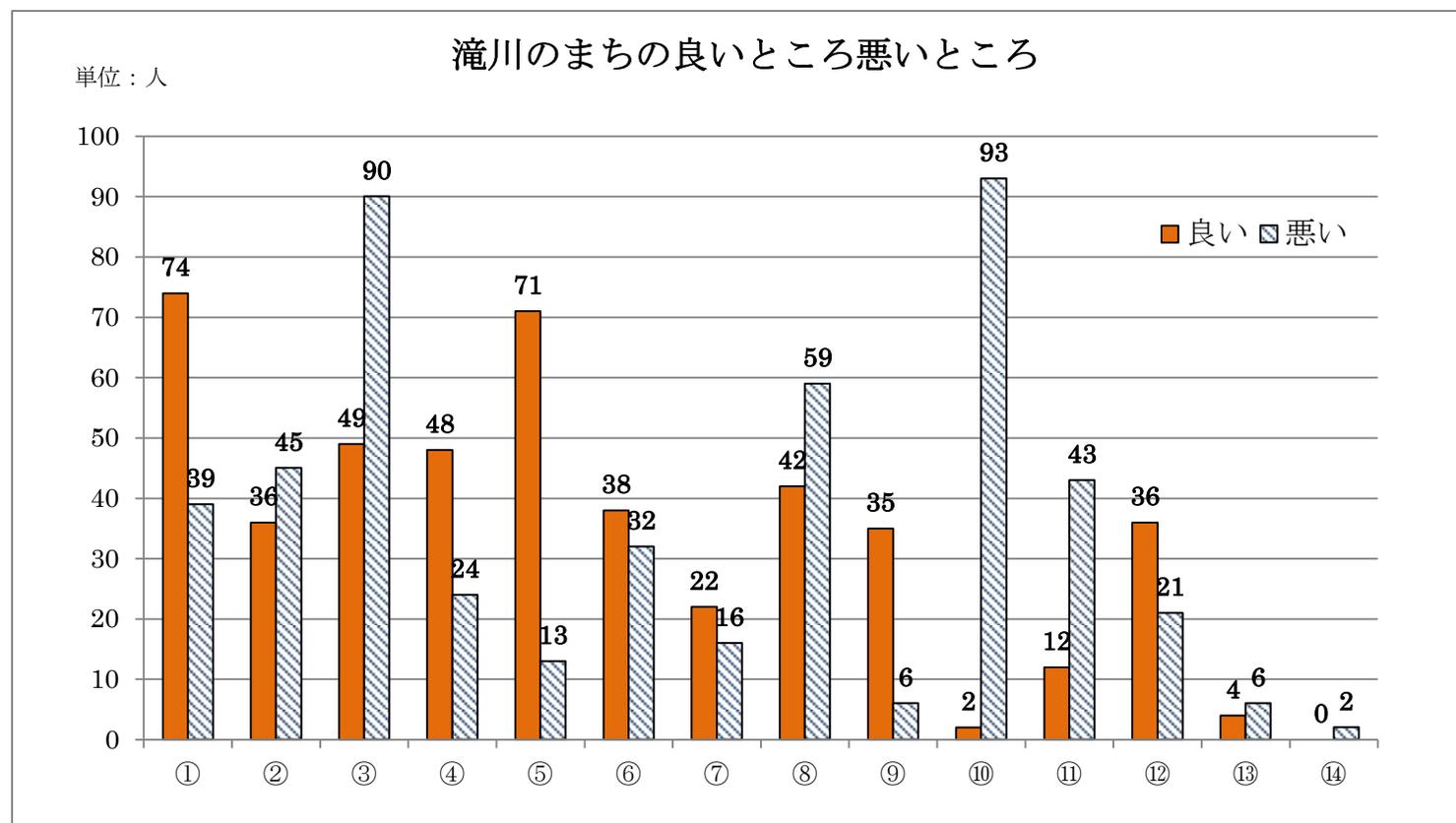
(第二次 滝川市環境基本計画 (骨子案) に反映したポイント)

- ・ 滝川の環境については、満足、やや満足で 50%以上を占め、自然に恵まれたまちであると理解されている一方で、⑩まち並みの美しさ、⑪ごみのポイ捨ての少なさに不満を持つ回答が 50%以上あった。生活するための環境整備が充実していないと市民にとらえられ、ポイ捨てが多いということは、個人の意識をもっと高める必要があると考えられる。
- ・ 市民の満足度が基本計画の目標とリンクしていく
- ・ ⑪ごみのポイ捨ての少なさ→各分野の目標 様々な主体や世代が協力して環境保全に取り組むまち

3. 滝川のまちの良いところ、悪いところ

①～⑭の項目（良い悪い合わせて5項目選択）

番号	項目	良い	悪い
①	道路交通	74	39
②	公共公益施設	36	45
③	除雪	49	90
④	悪臭・騒音・振動	48	24
⑤	安全・安心	71	13
⑥	ごみ	38	32
⑦	景観	22	16
⑧	買い物・利便性	42	59
⑨	自然環境	35	6
⑩	商店街	2	93
⑪	バス交通	12	43
⑫	公園・緑地	36	21
⑬	水辺環境	4	6
⑭	その他	0	2



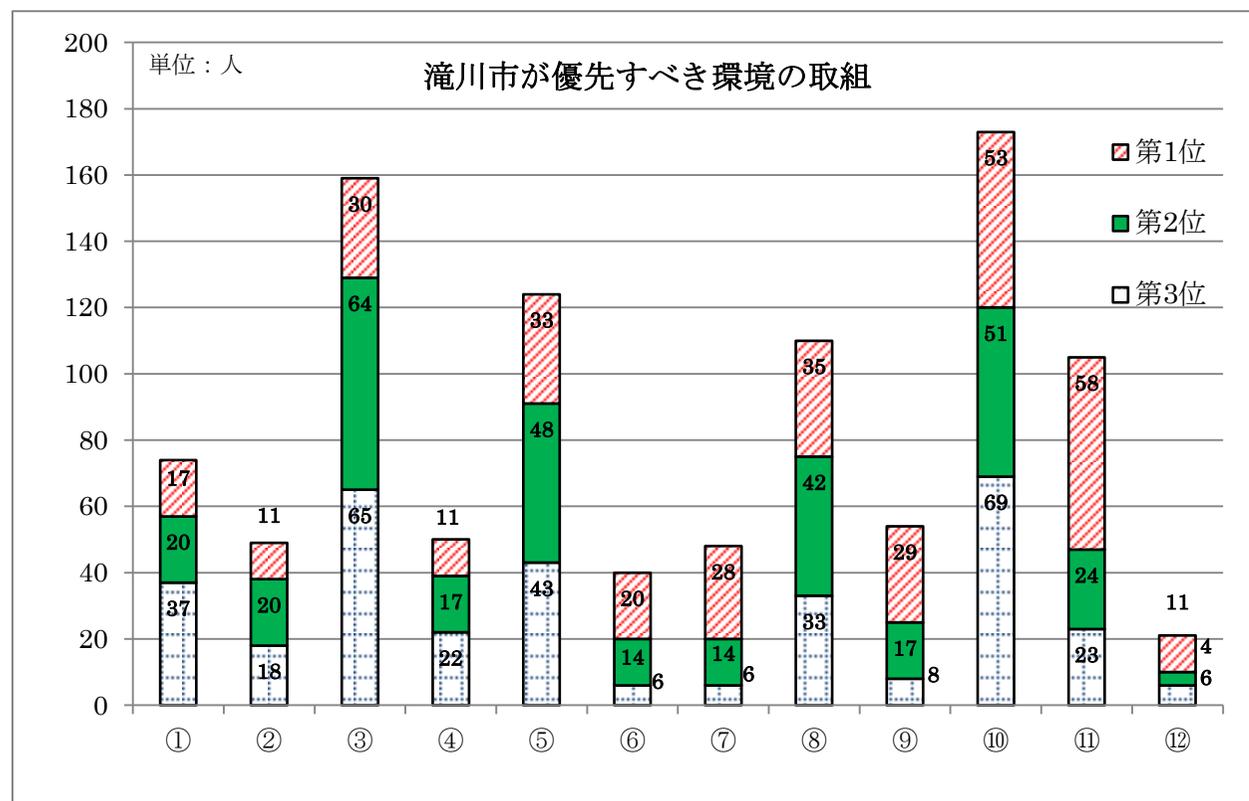
（第二次 滝川市環境基本計画（骨子案）に反映したポイント）

- ・ ⑨自然環境、⑬水辺環境には、不満が少なかった良い部分も多いわけではないので、より高い意識での自然環境が求められている表れといえる。
- ・ 市民からみた良いところ、悪いところが基本計画の目標とリンクしていく
- ・ ⑨自然環境、⑬水辺環境→各分野の目標 自然とふれあい、自然と生きるまち
- ・ 良い数値が高かったのは、①道路交通と⑤安全・安心であった。治安が良く、交通網は整うという認識の一方で、③除雪についての不満が高く、豪雪地帯であるが故、市民の関心も高く、冬期間のさらなる安全・安心を求めているといえる。
- ・ 除雪の他、⑧買い物・利便性、⑩商店街について、不満が高く、郊外、バイパス沿いに大型店舗が移り、従来の商店街が減少することで車等移動手段を持たない者には不便な環境になっているといえる。

4. 滝川市が優先すべき環境の取組

①～⑫の項目（上位3項目選択）

番号	項目	1位	2位	3位
①	大気汚染、騒音・振動、水質汚濁や悪臭などの公害防止対策	37	20	17
②	アスベストやダイオキシンなどの有害物質対策	18	20	11
③	ごみの減量化やリサイクルなどの循環型社会への取組	65	64	30
④	山林などへの不法投棄対策	22	17	11
⑤	省エネルギー・新エネルギーなど地球温暖化対策	43	48	33
⑥	森林など自然環境の保全	6	14	20
⑦	野生動植物の保護、管理	6	14	28
⑧	環境教育や学習機会、情報の提供	33	42	35
⑨	緑や水辺とのふれあいづくり	8	17	29
⑩	道路、公園、上下水道や景観など社会環境の整備	69	51	53
⑪	市民・事業者・行政による環境保全の協働の取組	23	24	58
⑫	その他	6	4	11



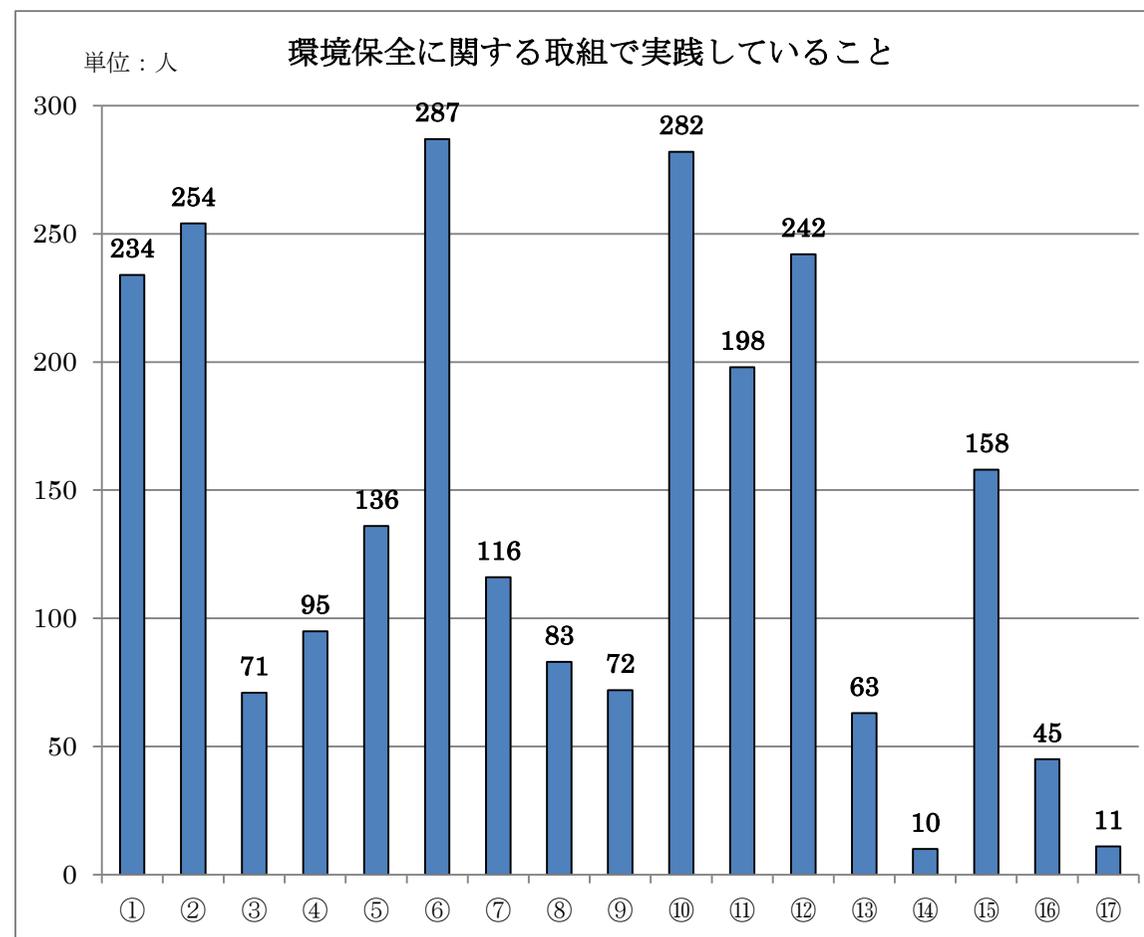
（第二次 滝川市環境基本計画（骨子案）に反映したポイント）

- ・⑩の社会環境の整備について、優先度が高いので今後、取り組む必要があるが、「滝川市都市計画マスタープラン（2011～2030）」の基本理念の中で豊かな自然環境、農村環境を守りつつ、河川に囲まれた特徴ある自然環境や市街地を取り巻く豊かな農村環境と密接に結び付いた都市づくりを進め、公共交通の利便性促進、自転車やエコカーの利用促進、既存施設等の資源を有効活用により地球環境にやさしい低炭素都市の形成を目指すとあり、今後の整備においては、環境保全に配慮しながら進められていくと考えられる。
→各分野の目標 エネルギーを無駄にしないまち、自然とふれあい、自然と生きるまち
- ・市民の取組の意識が基本計画の目標とリンクしていく
- ・③ごみの減量化やリサイクルなどの循環型社会への取組→各分野の目標 環境にやさしい循環型社会が営まれるまち
- ・⑤省エネルギー・新エネルギーなど地球温暖化対策→各分野の目標 エネルギーを無駄にしないまち
- ・⑧環境教育や学習機会、情報の提供→各分野の目標 自然とふれあい、自然と生きるまち
- ・⑪市民・事業者・行政による環境保全の協働の取組→各分野の目標 様々な主体や世代が協力して環境保全に取り組むまち

5. 環境保全に関する取組で実践していること

①～⑰の項目（複数選択可）

番号	項目	該当
①	近所に配慮して音楽など大きな音は出さないように気を付けている	234
②	水を無駄にしないように気を付けている	254
③	自家用車の使用を控えるようにしている	71
④	自家用車のアイドリングストップを実践している	95
⑤	エコ商品を選ぶようにしている	136
⑥	ごみを積極的に分別している	287
⑦	小型家電の無料回収を利用している	116
⑧	廃食用油の無料回収を利用している	83
⑨	古繊維の無料回収を利用している	72
⑩	エコバックを使うようにしている	282
⑪	過剰包装は断るようになっている	198
⑫	電気の使用量の削減など、省エネを心がけている	242
⑬	休日は自然環境に触れるようにしている	63
⑭	太陽光発電や風力発電など新エネルギーを使っている	10
⑮	ごみの清掃など、地域の環境づくりに協力している	158
⑯	環境問題などを話題にするようにしている	45
⑰	自然観察会等に参加している	11



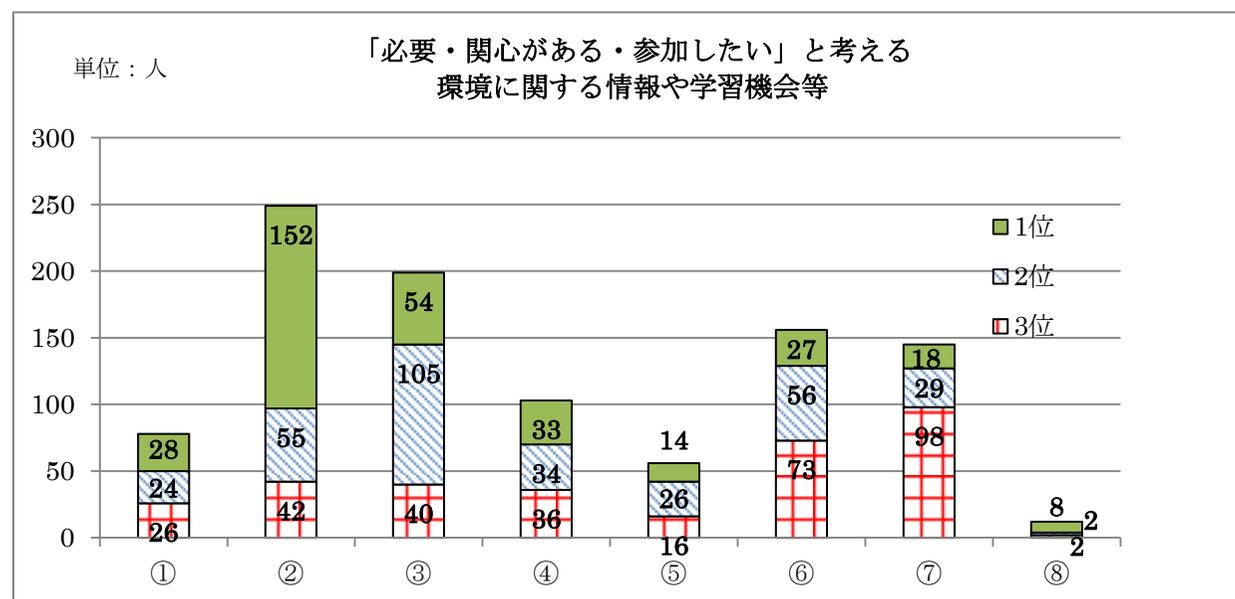
（第二次 滝川市環境基本計画（骨子案）に反映したポイント）

- ・ ⑥ごみ分別、⑩エコバックについては、実践の数値が高いことから市民に浸透しているといえる。①②⑩⑫も高い数値を示しており、身近なところで市民が実践している。
- ・ 身近な節約には取り組んでいる一方、⑯環境問題の話題、⑰自然観察会等参加が少ないことから、シンポジウムやイベント等の案内や周知を提供することが必要と考えられる。
- ・ 市民が取組で実践できていないことが基本計画の目標とリンクしていく
- ・ ⑯環境問題などを話題にするようにしている→各分野の目標 様々な主体や世代が協力して環境保全に取り組むまち
- ・ ⑰自然観察会等に参加している→各分野の目標 自然とふれあい、自然と生きるまち
- ・ 太陽光等新エネルギーの活用についても、積極的なPRが求められる。

6. 「必要・関心がある・参加したい」と考えている環境に関する情報や学習機会等

①～⑧の項目（上位3項目選択）

番号	項目	1位	2位	3位
①	アスベストやダイオキシンなどの有害物質に関すること	28	24	26
②	ごみの減量化やリサイクルなど循環型社会に関すること	152	55	42
③	地球温暖化に関する状況やその対策に関すること	54	105	40
④	自然とのふれあい(山・川)に関すること	33	34	36
⑤	生物多様性(野生生物の保護、外来種)の管理に関すること	14	26	16
⑥	市民が取り組める環境に配慮した行動(自然保護、環境教育など)に関すること	27	56	73
⑦	市の環境関連の調査結果や環境施策などの情報に関すること	18	29	98
⑧	その他	8	2	2



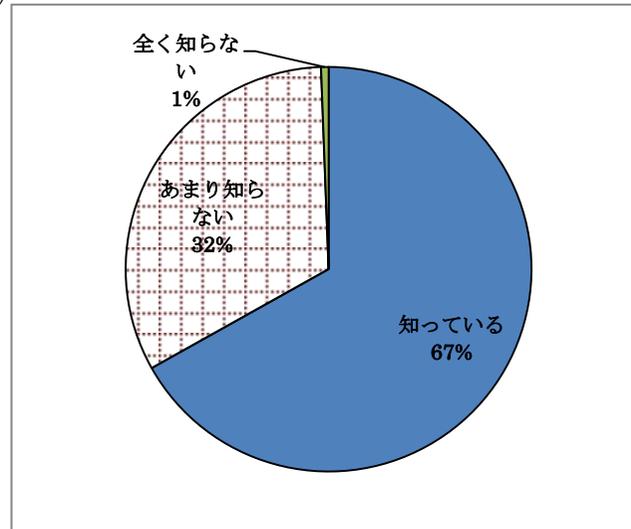
(第二次 滝川市環境基本計画(骨子案)に反映したポイント)

- ・ 5と同様に②ごみ分別、③温暖化について、数値が高いことから今後も市民に情報周知が必要といえる。
- ・ 市民が関心をもっていることが基本計画の目標とリンクしていく
- ・ ②ごみの減量化やリサイクルなど循環型社会に関すること→各分野の目標 環境にやさしい循環型社会が営まれるまち
- ・ ③地球温暖化に関する状況やその対策に関すること→各分野の目標 エネルギーを無駄にしないまち

7.

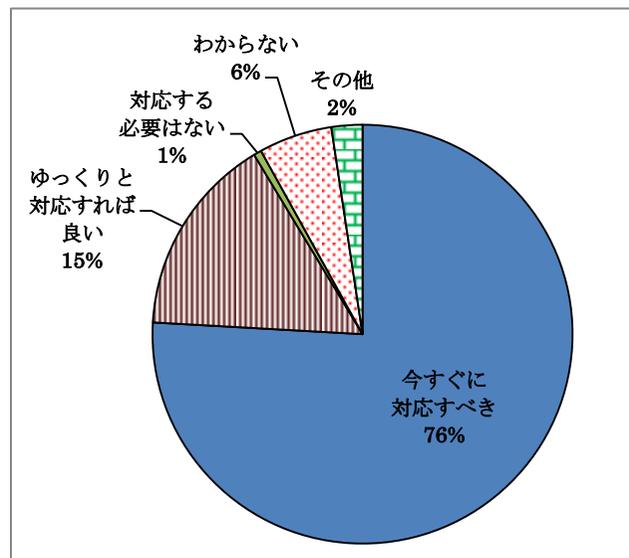
(1) 地球温暖化で環境に出る悪影響をご存知ですか（単位：人）

番号	項目	該当
①	知っている	224
②	あまり知らない	109
③	まったく知らない	2



(2) 地球温暖化の取組にどう対応すべきか（単位：人）

番号	項目	該当
①	今すぐに対応すべき	255
②	ゆっくりと対応すればよい	52
③	対応する必要はない	2
④	わからない	19
⑤	その他	8



(第二次 滝川市環境基本計画（骨子案）に反映したポイント)

- ・地球温暖化やその取組について、今すぐに対応すべきという回答が多いということは、基本計画の目標とリンクしていく
→各分野の目標 エネルギーを無駄にしないまち